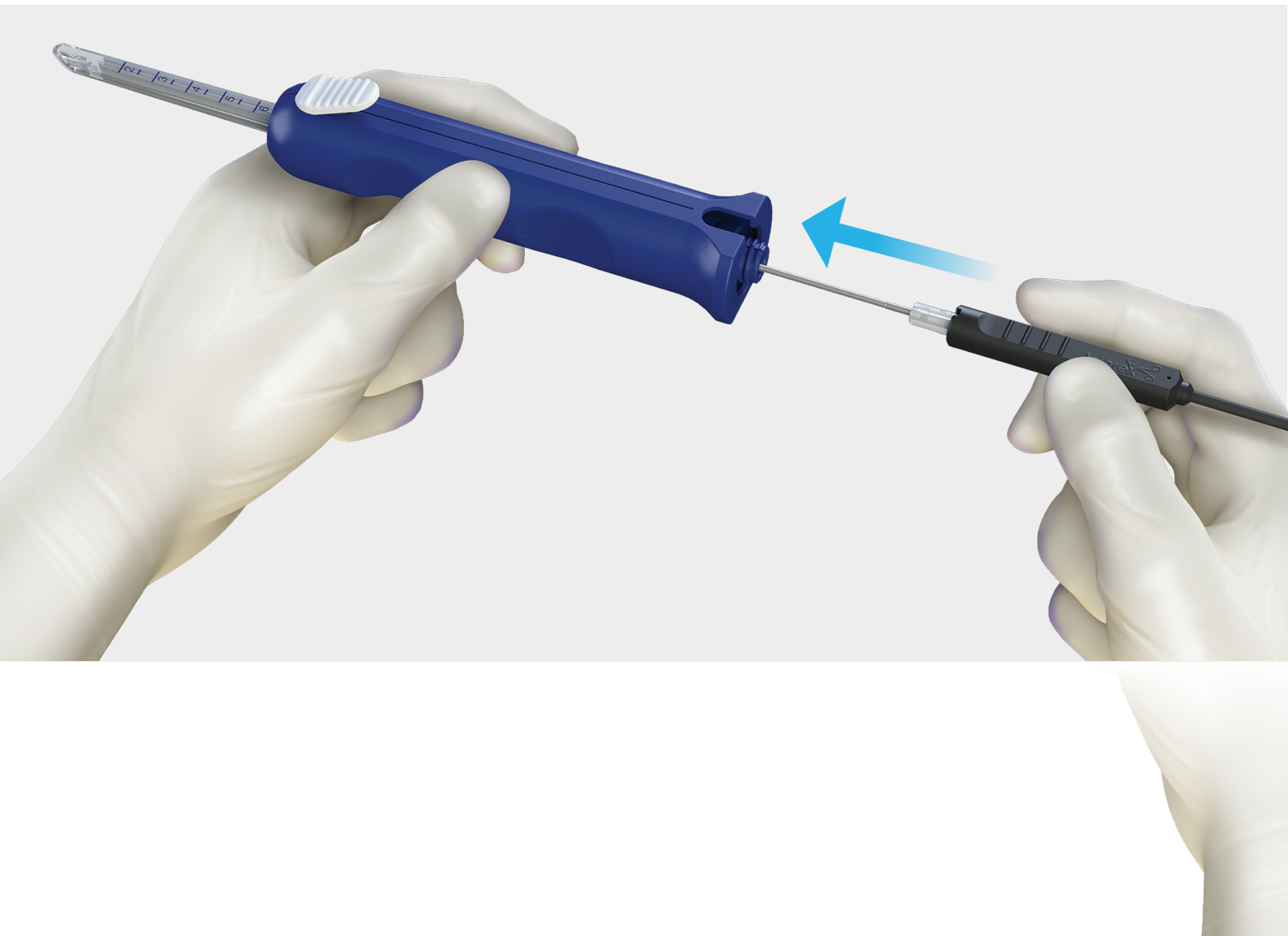
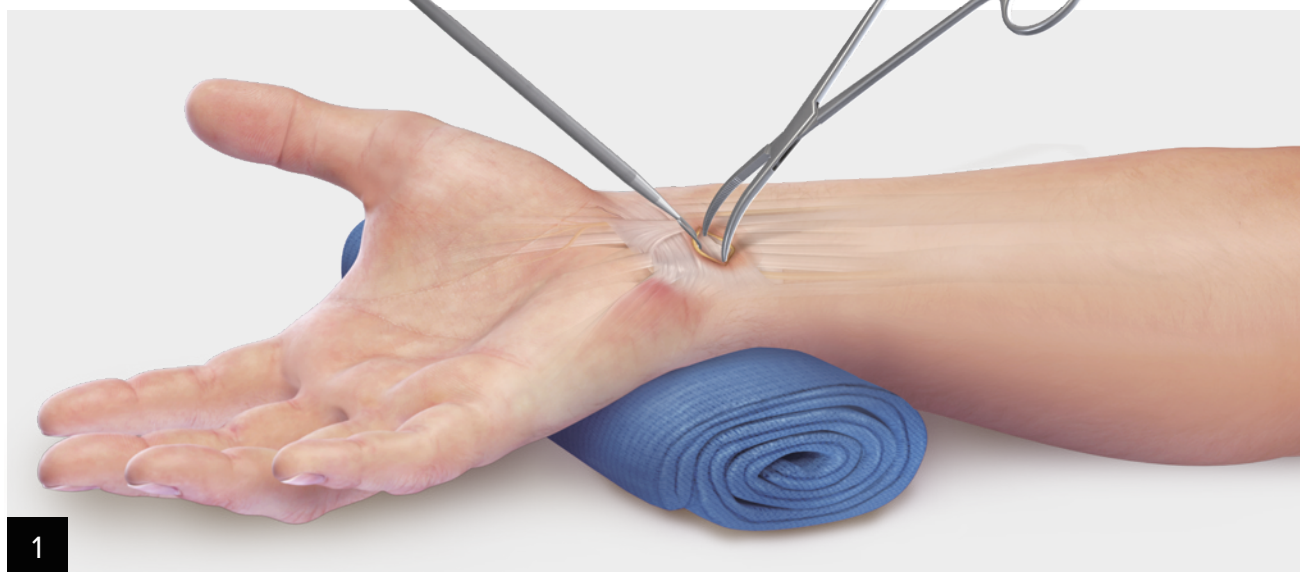


NanoScopic™ Release System

鏡視下手根管開放術 Surgical Technique

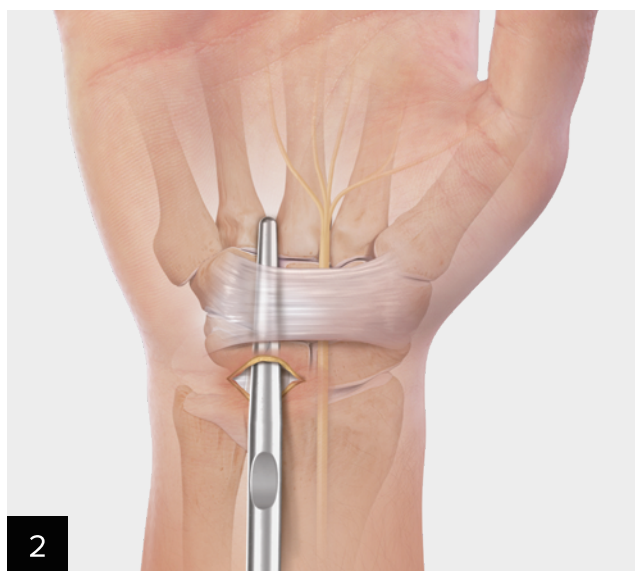


Arthrex®

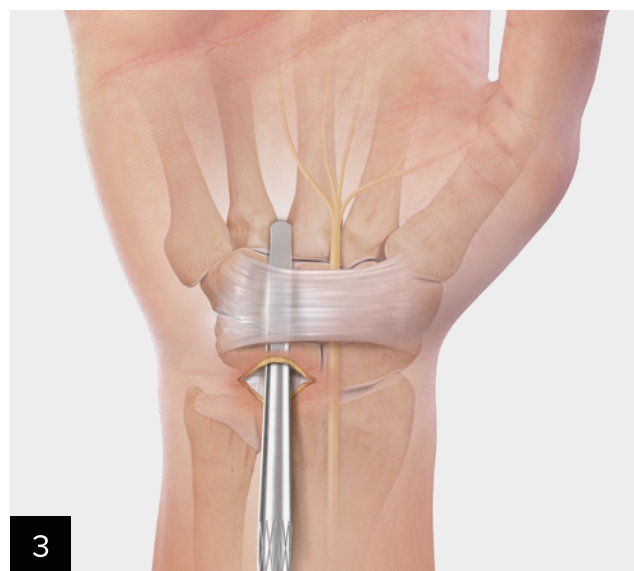


尺側手根屈筋と長掌筋の間の手首皮線（通常は近位の手首皮線）の1つに、横方向に切開（長さ約 2～3 cm）を加えます。軟部組織の切開は切開部橈側から開始し、前腕筋膜まで切り進めます。

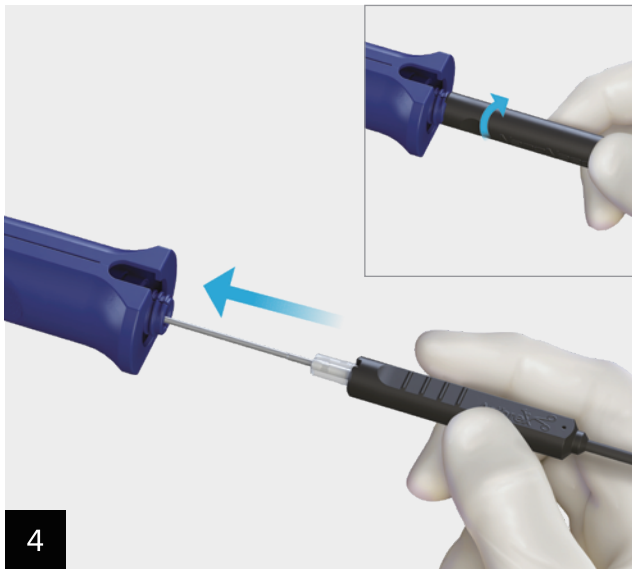
前腕筋膜を押し上げ、切開創に沿って切離することで手根管へのアクセスを確保します。横手根靱帯の近縁に小型の2爪鉤開創器を設置し、横手根靱帯を挙上します。



NanoScopic リリースシステム ダブルエンドツールには、手根管内に作業スペースを作成するためのダイレーター1つと滑膜スクレイパー1つが含まれています。手首をわずかに伸展させた状態で、ダイレーターを環指基部に向けます。遠位に向かって尺側手根管に少しずつダイレーターを挿入していき、有鉤骨鉤部に沿ってダイレーター先端部が手根管を通過するまで挿入します。

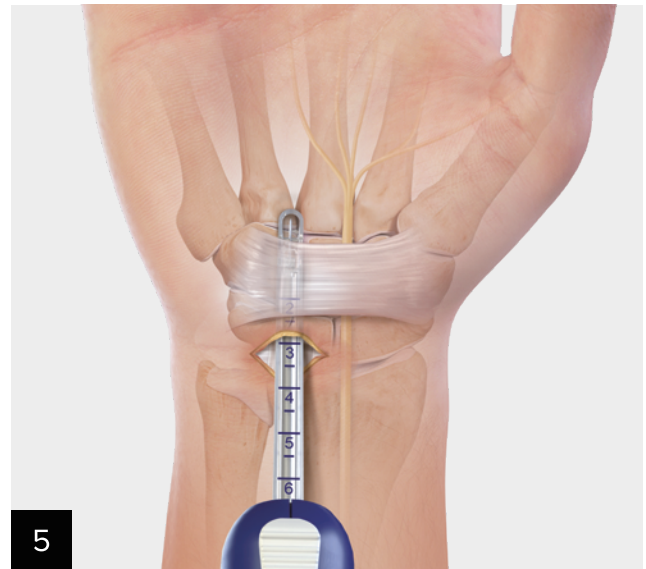


滑膜スクレイパーを使用して、横手根靱帯下面に付着している滑膜を切離します。横手根靱帯下面の良好な視野を得ることができます。ダイレーターと同じ進路を介して横手根靱帯下面を搔爬します。顕著なザラザラした洗濯板のような感触が感じられるようになります。



NanoNeedle スコープを NanoScopic センターラインデバイスに装着します。この際、NanoNeedle スコープは少し回転させながらカチッと音がするまで挿入します。

注: NanoScopic センターラインデバイスに完全に挿入された状態でも、NanoNeedle スコープは回転する可能性があります。

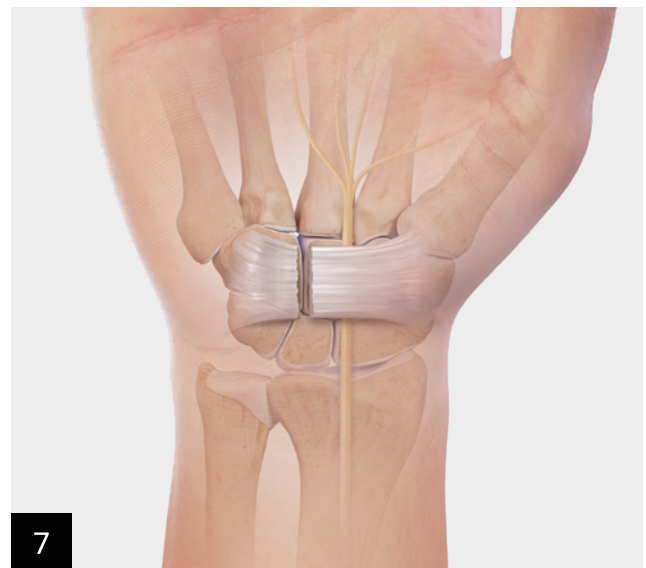


手首をわずかに伸展させ、NanoScopic センターラインデバイスを手根管内に挿入し、先端の観察窓を靱帯下面に密着させます。デバイスを環指基部に向け、横手根靱帯の遠位縁が見えるまで遠位方向に進めます。



横手根靱帯への挿入進路を遠位端から近位端まで確保した後、ナイフを遠位で展開し、これまでに確立された挿入進路に沿ってデバイスを引き抜きながら横手根横靱帯を切離します。

デバイスを再挿入して、横手根横靱帯が完全に切離されていることを確認します。



切離された横手根靱帯の最終状態

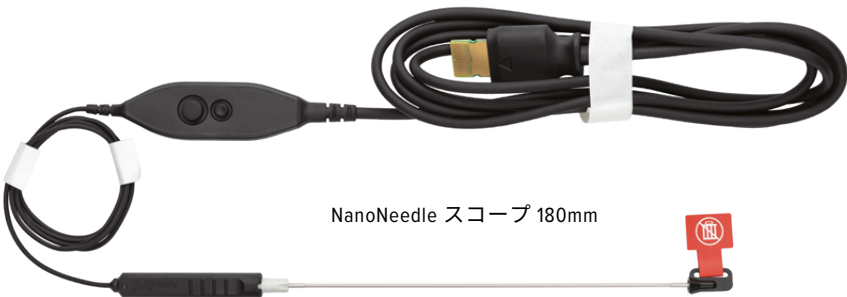
Ordering Information

製品名	型番
NanoScopic リリースシステム	AR-8850DS
NanoScope タブレットコントロールユニット	AR-3200-0030



AR-3200-0030 NanoScope タブレットコントロールユニット

AR-8850DS NanoScopic™ リリースシステム 構成品



NanoNeedle スコープ 180mm



NanoScopic センターライン リリースデバイス



ダブルエンドツール 滑膜スクレイパー / ダイレーター



滅菌済パッケージ

販売名	承認等番号	一般の名称	規制区分	機能区分
NanoScope カメラシステム	302ADBZX00035000	硬性関節鏡	クラス II	非該当
NanoScope カメラヘッドキット	302ADBZX00051000	硬性関節鏡	クラス II	非該当

製造販売元: Arthrex Japan合同会社

arthrex.co.jp

© 2023 Arthrex Japan合同会社 All rights reserved. LT7-000274-ja-JP_A
〒163-0828 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル28F
TEL: 03-4578-1030 FAX: 03-4578-1039

